

第3章 基本理念・基本方針及び基本目標

1

基本理念

未来を拓くたくましい宮っ子を、
活力ある学校が、地域と共に育みます。

未来を拓く
たくましい宮っ子

未来を拓くたくましい宮っ子とは、生きていく上での基礎・基本を身に付け、確かな学力、豊かな人間性、健やかな体を持ち、創造性と共生の精神を発揮しながら、自らの夢に向かって力強く歩み続けることができる児童生徒です。

活力ある学校

活力ある学校とは、教育目標の実現のために、主体性を持ち、創意工夫ある教育活動を積極的に展開するとともに、保護者や地域と一体になって教育の充実に努める、活気に満ちた学校です。

宇都宮市は、このような基本理念に基づき、21世紀を生きる児童生徒に必要な能力や態度を育むため、教育内容の充実、学校運営の改善、教育環境の整備、新たな学校教育システムの構築等に努め、新しい時代にふさわしい学校教育を進めます。

2

基本方針

基本方針 1

「自信」と「共に生きる力」を育む学びの創造

児童生徒が、未来に向かって力強く歩み続けることができるようにするためには、これまでの学校教育が大切にしてきたものを今後とも重視しながら、身に付けるべき基礎・基本をしっかりと身に付けさせるとともに、これからの社会の変化にも十分に対応できる力を育む教育が必要です。さらに、夢をもてなかつたり、自己を見失ったりする若者が見られる現状において、自分のよさや可能性への自覚を深めるとともに、人権やモラル等を尊重して生きる態度を育てる教育活動の展開が重要となっています。

そこで、児童生徒に「自信」と「共に生きる力」を育むことを目指して、本市のもつ自然、文化、産業、さらには多様な人材や施設などを有効に生かしながら、これまでの教育活動の工夫・改善を行い、児童生徒のための豊かな学びを創造し実践します。

基本方針 2

「信頼」と「魅力」のある学校づくりの推進

これからの学校には、保護者や地域住民に開かれた学校運営をしていくことが望まれており、教育活動の一層の充実のためにも、家庭や地域等との連携・協力を進めていくことが不可欠となっています。しかし、これまでは、家庭や地域等と連携した取組を進めることについて、戸惑いや消極的な面が見られ、意思の疎通が十分ではなかったという反省から、学校運営の在り方について改善を図ることが大切です。

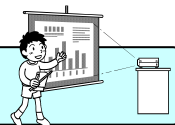
そこで、「信頼」と「魅力」のある学校となるため、各学校が主体的に創意工夫のある教育を実践することはもとより、学校・家庭・地域等との連携を更に強化し、相互に支え合う協力体制を大切にするとともに、行政もその役割を的確に果たし、学校の教育環境の充実を図ることにより、よりよい学校づくりを推進します。

3

基本目標

1

学ぶ意欲と、新たな時代を創造的に生きる力を養う



学ぶ意欲を高め、基礎・基本の定着を図るとともに、一人一人のよさを伸ばし、新たな時代を自信をもって創造的に生きる力を養います。

2

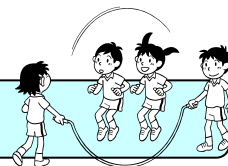
人を思いやり、地域を愛する心を育む



共に生きる喜びを実感しながら、人を思いやる心や地域への愛着を深められるようにするとともに、豊かな感性を育みます。

3

健康を大切にし、元気に生活する態度を培う



生涯にわたって心身ともに健康で元気に生活できるようにするため、基礎的な体力を身に付けられるようにするとともに、自らの健康を大切にする能力や態度を培います。

4

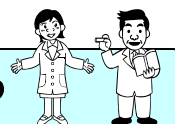
特別な支援が必要な児童生徒への指導体制を整える



多様な教育的ニーズへの対応を充実させるとともに、問題行動・非行への対策を強化し、様々な支援を必要とする児童生徒への指導体制を整えます。

5

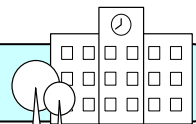
教師が高い指導力と情熱をもって児童生徒と向き合う



教職員人材育成システムを構築して、本市独自の人事制度並びに研修制度を展開し、高い指導力と情熱をもった教職員が児童生徒の指導にあたります。

6

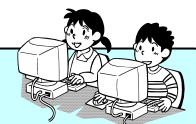
地域から信頼される学校をつくる



学校が自主・自律し、魅力に溢れているとともに、家庭・地域等と連携しながら、信頼される学校づくりを推進します。

7

充実した学校教育の実現を支える



学校の教育環境の充実を図るとともに、先駆的・先進的な教育研究を推進し、本市の実情に応じた新たな教育システムの実現を目指します。